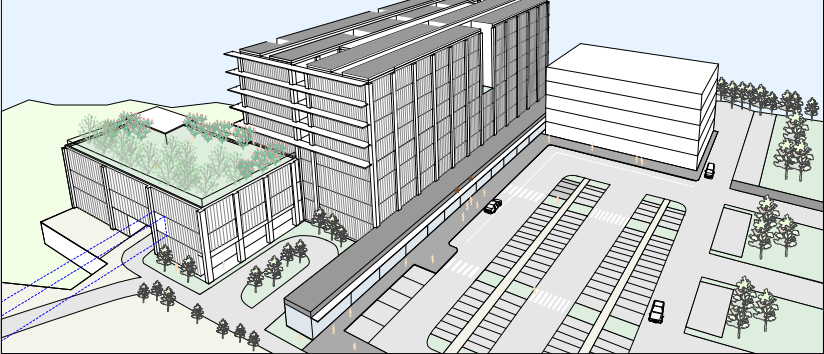


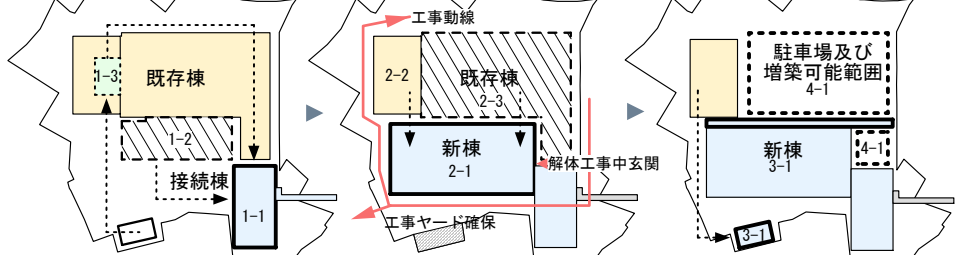
中頭病院プロポーザルコンペ



さまざまな要求を限られた予算の中で実現する中頭病院新病院整備計画のコンセプトをわたくしたちは「リーズナブルホスピタル」（道理にかなっている）としました。

■リーズナブルホスピタル1：合理的な建替プロセス

- ・新館をほぼ2段階で整備することで工期を短縮し、工期中の病院運営ストレス軽減とローコスト化をはかります（解体工事も可能な限り集約します）。
- ・第三期の休館解体は東棟から先行し、救急車寄せを先行整備し暫定的新館玄関とします。
- ・主要構造体（柱・梁・床版など）をプレキャスト化することで工期短縮をはかります。



<1期工事 接続棟建設> <2期工事 新棟建設> <3期工事 玄関・託児所建設>

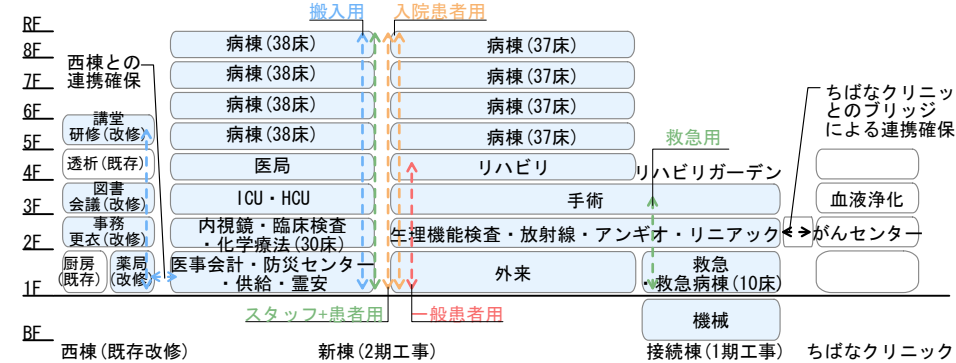
- 1-1. 新病院建設・機能移転
- 1-2. 既存棟解体
- 1-3. 託児所移転・生理機能移転
- 2-1. 新病院建設・機能移転
- 2-2. 機能移転・西棟改修工事
- 2-3. 既存棟解体
- 3-1. 新病院建設・託児所建設
- 3-2. 外構整備
- 4-1. 増築可能範囲

■リーズナブルホスピタル2：合理的な敷地利用計画

- ・新館を敷地南側に集約配置し現在の休館部分全体を駐車場兼将来増築エリアとします。

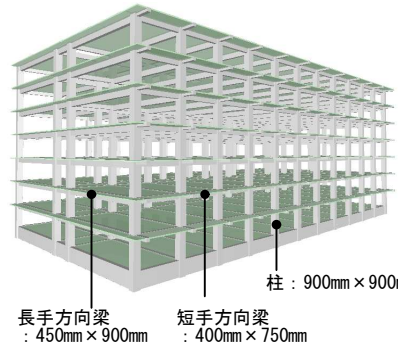
■リーズナブルホスピタル3：合理的な施設計画

- ・新館はエキスパンションジョイントで結合される2棟の建築で構成します。
- ・8階建ての新棟にコンパクトな平面を活かして立体的かつ合理的に機能を配置します。
- ・先行整備するちばなクリニックとの接続棟は二つの地盤レベルに跨って建設します。
- ・既存西棟は運営管理諸室とプライバシーが必要な透析機能（既存活用）を配置します。



■リーズナブルホスピタル4：合理的な建設計画

- ・構造は柱梁のみで成立するプレキャストプレストレストコンクリートの純ラーメン構造とし、ロングスパン無柱空間が新築・増改築時の計画自由度を最大に担保します。
- ・沖縄特有の厳しい環境に対して高強度プレキャストコンクリートは耐候性・耐塩性に優れ、又プレストレスの導入によりひび割れ幅を抑制し高い耐久性を確保します。
- ・杭基礎とし、上部構造の柱本数の抑制、最適な支持層の選定により、最も経済的な基礎計画とします。
- ・外壁は汎用ALCを既成600mmピッチで割り付け、階高に合わせて厚みを調整して、上下二辺支持による徹底的な合理化をはかります（1-4階125mm/5-8階100mm）。



<構造モデル>

■リーズナブルホスピタル5：合理的な環境計画

- ・1-4階は南面開口を最小化することにより室内への負荷低減をはかります。
- ・5-8階は南面に個室を配置し奥行の深いバルコニーにより直接日射を回避します。
- ・方位ごとに寸出法を変えた庇（+部分的日射制御要素）により熱負荷を低減します。



配置図兼1階平面図 (S=1/600) 救急部門と外来部門とを隣接配置

